検証●ポスト大嘗祭への潮流

問題の推移と今後の課題

大嘗祭（だいじょうさい）が終わった。新天皇が「天皇霊」を受けて真に「天皇」になる秘儀として、政教分離や国家主義への回帰、神格化、偶像礼拝など様々な観点から懸念や論議を呼び、多様な層からの「声」が紙面を賑わせた。一般のマスコミでも、キリスト教界でも、これほどまでに「天皇」や「天皇制」が話題に上ったことはかつてなかった。しかし、その最大のイベントが終わった今、一過性の日本のマスコミは何もなかったかのようにこのテーマを忘れ去っていくだろう。それでは、キリスト教界はどうか——。多くの「声」が表明していたように、これが信仰にかかわることならば、忘れ去ることはできない。いや、忘れ去ってはいけないはずだ。これから何をどう考え、取り組んでいったら良いのか、考えるための手掛かりとして、記者たちが追ってきたニュースの流れを概括的に跡付け、感じさせられてきた問題の推移と今後の課題を検証しておきたい。

異なる3つの視点

接点探りつつ継続的深化を

昭和天皇が倒れた八八年秋以降の「天皇代替わり」の季節に際して、教界の反応と関心の推移は、大きく三つに分けることができる。

まず第一に出てきたのは、憲法の政教分離・信教の自由を守り、神社参拝をアジアの諸国民にまで強いたようなかつての国家主義の復活を許すな、という声だ。これは、それまでの靖国問題の流れから当然出てくる視点であり、その後各教派・団体から出た声明、意見書、要望書などが必ず触れた点でもある。

当初、もはや戦前のような天皇崇拝の強要はあるはずがない、新天皇は前天皇よりキリスト教に理解があるので心配はない、といった楽観論も一部にはあったが、天皇死去前後のあの「自粛」と「天皇賛美報道」の異常さは、ふだん意識しなかったこの国にとっての天皇（制）の重さの自覚を、改めて呼び覚ました。その後の各教派・団体からの声明などの数が、危機感の大きさを端的に物語っている。

「天皇」について語ることにこれまで日本の教会、殊に福音派は慣れていなかった。本紙の紙面に執筆した教界の指導的立場の人々の間にも、このコンセンサスのない問題をどのように扱うか、戸惑いがあった。だが、前天皇の死去を通して、「天皇制」の圧迫は、外側からの強制としてよりもむしろ、国民一人ひとりの内側からわいてくる、何か抗し切れない「自粛」の力として姿を現した。

ここに及んで、天皇制の問題の本質は日本人の「内なる天皇制」「日本人性」の問題だという、第二の視点の重要性が高まってきた。そうであるならば、これは日本人に宣教しようとする教会にとって「宣教の課題」であり、日本人キリスト者自身にとっては「信仰告白」の問題であることが自覚される。

関心の推移としては、キリスト者の表明として果たして「政教分離」だけで良いのかという問題意識と共に、声明などの中にも次第にキリスト者としての立場や信仰を明文化したものが増えてきたように見受けられる。また、大嘗祭の直前、福音派の神学校の神学生らが相次いで、信仰の表明としての呼び掛けを公にしたことは、将来の教会を担う教会リーダーの意識として注目される。

そしてもう一つ、大嘗祭に代表される天皇制のもつ宗教性に「悪の霊」の力を見、霊の戦いとして捕らえる第三のアプローチが、特に「即位の礼・大嘗祭」前後に「とりなしの祈り会」のような形で表面に出てきた。これは主に、カリスマ・ペンテコステ系の人々の間で顕著な動きとして表れたが、福音派教会の中にも当日あるいは前後の主日礼拝や祈祷会などで、天皇や政府・国が道を誤らないよう祈った教会もあった。

また、NCC大嘗祭問題署名運動センターが、「反大嘗祭」の姿勢を「礼拝」という形において告白した一連の集会を催したり、「百時間断食」という形で抗議の意思表示をしたことも注目される。これらは本来、福音派こそがやるべきことではなかったか。

さて、この三つの視点は一応、それぞれ別の問題意識や感性を背景にもっている。しかし互いに無関係ではないはずだ。

「政教分離厳守」を求める声は、国という共同体の義や罪に共同の責任を負うキリスト者として当然上げるべき「預言者の声」であるし、おびただしい反対声明がなかったらこの国の為政者たちはもっと露骨に重大な罪を犯していただろう。同時に「政教分離運動だけでは不十分」という声は、この日本という土壌で真の福音信仰を告白し、宣教していくために、避けて通ることのできない宗教思想上の問題提起をはらんでいる。そして、信仰にかかわる問題である以上、私たちの戦いが「天上の悪の霊に」対するものであることを覚え、祈り深くとりなすことは、全信徒に課せられた聖書の要求である。

多様な意識が出てきたことは、問題を深めるために良いことだといえよう。だが、それらの問題意識もまだ、広く末端の教会員まで浸透しているとはいえない。三者の接点を探りつつ継続的な学びと祈りを掘り下げ、この問題の福音への問い掛けと福音からの応答を、各個教会・信徒レベルまで深めることが、今後の課題なのではないだろうか。

発行月・日（'90年）	記事内容（単に「声明」とあるのは大嘗祭反対声明の意）、発言者＝発言内容（全部は網らできません。特徴ある興味深い部分のみ）
1・7	ＪＥＡでも大嘗祭反対署名運動開始（12・4）
1・21	ＪＥＡ大嘗祭問題協（1・8）50人参加。西川氏がキ者の自己吟味、霊性の確立訴える
1・21	石原官房副長官、大嘗祭につきキ教連合会・亀谷委員長に意見聴取。亀谷師憲法遵守主張
1・21	アッセンブリーが声明
1・21	【神学】稲垣＝「劇場国家」容認の民衆の宗教性
1・28	東京ミッション研などの招きでＪアーガード・仏教徒宣教研副議長講演し、神官への宣教師、オカルトとの対決の必要指摘
1・28	【読書】キ者遺族の会文集◇神道とキリスト道
2・4	長崎市長銃撃テロ（1・8）【特集】言論封殺現状
2・4	【特集】西川、奥山実、内村鑑三／折口、吉野裕子、小堀桂一郎引用し解説◇70の2・11集会
2・11	ＪＰＣ総会で横山武師、聖書信仰者の抵抗語る
2・11	教皇の「皇位継承は国事で」発言、ローマ筋否定
2・18	最高裁判事審査で政教分離守らぬ人に×を運動◇単立連盟要望書◇ＮＣＣが各国大使館に「神話に基づく儀式」注意
2・18	【落穂】「聖書信仰の確立」に関わる天皇制問題
2・18	【神学】稲垣氏①＝一神教解体・多神教寛容誤り
2・25	2・11福音主義から天皇制問う◇名古屋で丸山忠孝・東京基大学長＝抵抗権の根拠たる聖書語る◇東海福音主義者の会でトラクト◇同盟新潟ブロック集会で坂本誠師＝偶像礼拝禁止の理由◇新潟・伝道福音教団・舘脇実理事長＝ダニエルの自立した魂◇大阪で千代崎師＝ホーリネス弾圧の教訓は法律への取り組みの必要◇東京・中連合・細川勝利師＝天皇は元首でない
2・25	新潟・伝福教団集会で明道志保さん＝高校運動部は旧軍隊。憲法が〝絶対〟なのでない◇金子真三さん＝修身教科書の「義は国を高く」聖書を逆用したが…◇日キ教団大阪教区、劇で教会での社会意識のギャップ提示
2・25	【読売】問答集、小冊子等身近な出版多
3・11	長崎市長銃撃機に求道した主婦◇市長銃撃抗議の広告「朝日ジャーナル」に
3・11	【声・焦点】小菅啓子さん＝共産国の政策に反しても神に従うことから日本の場合を考える
3・18	【神学】鍋谷堯爾師＝旧約における「象徴」
3・18	稲垣氏連載＜大嘗祭と教会＞①＝あの長崎市長が「忠魂碑は非宗教」と言う問題の深さ
3・25	改革派声明
3・25	【読書】『即位の礼と大嘗祭を読む』で戸村政博氏は、大嘗祭祭祀を古来の記録に基づき明らかに
4・1	【特集】韓国の教会は聖書への忠実さ故神社参拝否定。日本では「簡易信条」があだに？
4・5	【特集】本紙読者天皇制アンケート調査。一般調査と対照的結果◇天皇の即位式不賛成76%、大嘗祭中止望む60%、天皇制廃止49%
4・15	【神学】稲垣氏②＝経済進出機にした日本批判に対し、日本文化の存在主張のため天皇利用
4・15	【声】杉山博昭氏＝新学習指導要領に抵抗を
4・22	同盟基督見解と宣言。自らの神社参拝の罪言及
4・29	キ教４大学長（関西学院、国際基教、フェリス女学院、明治学院）大嘗祭に声明。キ教教育を拘束した神権天皇制への逆行を危惧
4・29	【読書】戦後の視点から捉えた天皇論三題・井上圭典氏＝三冊を読み、戦後派がとまどいながら抽出した軍服の天皇時代のキーワード知る
5・6	フェリス女学院大・弓削達学長宅に銃撃（4．22）◇ＮＣＣ大嘗祭署名センター＝体制批判への暴力で封じ込め怒る。黙ることは認めること
5・6	ホーリネス「弾圧記念日」（＝6．26）制定。委員長声明◇播磨靖国公式参拝違憲訴訟一審敗訴にＮＣＣ抗議。独立と良心に基づく判決求める
5・6	【声・焦点】渡辺信夫師＝ネズミ取り裁判について。上の者に逆らうことが悪との旧日本が生きている。裁判は良心の自由守ってくれない
5・20	【神学】稲垣氏③＝強固な日本的「世界観」
5・27	ＮＣＣ署名センター集会で笹川紀勝氏＝あいまいな神に国として祈れば災いの元。銃撃事件あったが国民は天皇から離れつつある
6・3	参院予算委で竹村泰子議員、大嘗祭質問。参考人として西川氏、戦後皇室典範制定時の金森国務大臣の大嘗祭除外発言を解説（5．21）
6・3	沖縄二高校生、卒業式の日の丸・君が代に反対
6・3	「キ教と宗教法人法」④安西愈弁護士＝宗教法人になっても信教の自由損なわれない
6・10	【落穂】参院予算委での西川氏質問をマスコミ取り上げず、大嘗祭議論黙殺した
6・10	【声・焦点】東中喜彦氏＝改憲の見こみはなく天皇制廃止（4．15号調査）とは非現実的
6・17	ルーテル教団声明◇【特集】福音しめ出す国
6・17	【神学】稲垣氏④＝お喜陽師に天皇の力見る
6・24	参院議員会館で大嘗祭予算自然成立阻止要請集会◇ＮＣＣ・ＪＥＡ署名提出◇議員へ電話攻勢
6・24	福音長老声明◇福音伝道教団声明
6・24	【読書】明仁天皇の教師ヴァイニング著『天皇とわたし』に天皇の自由指向の思想見る、と西川氏評◇『日本の宗教行事にどう対応するか』勝本正実師は神道学会、仏教大で学んで書いた
7・1	ＪＥＡ総会大嘗祭声明（6．13）◇ＪＥＦ声明
7・1	キ教主義４大学長声明に15学長賛同、6人反対
7．15	ホーリネス弾圧記念集会で千代崎師＝聖書的信仰を〝罪〟とし、全キ教界おどすねらい持った弾圧だった◇松村司師＝牧師がキ者やめる悲劇も
7．15	国会祈祷会で川谷威郎師＝信仰は精神安定剤でない。社会で影響もつ人育てる牧会志した◇ＮＣＣ「結婚の儀」報道抗議◇婦人矯風会要望書
7．15	【神学】稲垣氏⑤＝人間は宗教的動物だが、贖罪により新生し、造り主見出さねば不安。そして被造世界のある一部を神格化。だが安心なく、正反対の一部分も絶対化。日本的世界観では前者が原始宗教、後者が天皇中心の国家宗教
7．22	信徒前進修養会証しから＝工場責任者として神道儀式に参与せぬため断食して備え勝利
8．5	韓国・朝鮮教会代表が在日大韓主催で東京会議。日帝侵略による屈辱、祖国分断の中にいる在日にとり希望となった◇外登法問題シンポ
8．5	フェリス学長銃撃に15大学教員有志声明、署名◇青森福音キ教会協議会要望書
8．12	【特集】大嘗祭近づく。岡部高明師＝ＪＥＡ声明は憲法上の視点からまとめた◇西川氏＝署名運動は、政府への具体的警告として主体的になすべき◇結城晋次師＝主イエスのみが神が人となった大祭司。カイザルは神でないと告白を
8．12	【声・焦点】湯口隆司氏＝多くのキ教声明はキリストへの信仰故の反対を言明せず不満。教会は憲法論の枠組みでなく信仰で生きるはず
8．19	原爆記念日キ者の集い◇韓国人原爆碑移設時に強制連行の碑文削除の市方針に反対の声
8．19	「とびお通信」出す江口瑞恵さん＝戦中キ者のあいまいな姿悔やむ。平たく疑問表現したい
8．19	【神学】稲垣氏⑥＝「民主主義」「基本的人権」を一般恩寵と解釈すればこれも聖書的動因と近代啓蒙主義の宗教動因の混交になって危険
8．26	8．15に平和遺族会、政府主催追悼式参加遺族にビラ。共感者も多い◇千鳥ヶ淵祈祷会で広田具之師＝生死の意味付けに国家介入許すな◇靖国国営化阻止東京集会
8．26	ゴスペル'90武道館周辺祈会、警備上の懸念で中止◇キ教連声明◇日キ教団13教区で特色ある声明◇仙台キ教連合声明◇岐阜県キ教連声明
9．9	Ｐワーグナー師、〝一千万救霊〟聖会で'90年代を地域支配の悪霊との戦いの時代と分析。大嘗祭で天皇が悪霊につかれぬよう祈ろうと呼びかけ
9．9	西川氏、群馬反靖国市民の会10年記念講演で、「政教分離限界論」に反論＝電話、手紙等でストレートな意見表明を
9．9	【声・焦点】8．12号湯口氏への応答①山口陽一師＝他宗教への「反対」と、国家・宗教癒着への反対は違うが、共に信仰の問題。政府に神の意伝えるべき◇②広田具之師＝「公的」宗教儀式への「公」の反対。ＪＥＡは信仰に立ち声明
9．16	アジア戦争犠牲者心に刻む集会報告・川越弘師＝自分の加害性忘れ「観客」になることを反省
9．16	【神学】稲垣氏⑦＝日本の「政教分離」は国家と神道の分離を意図／神道にとり「象徴」は「征夷大将軍の任命者」。罪は「反省」で正せるもの
9．16	【神学】稲垣⑥に対し中台孝雄師応答＝民主主義にある真理の要素大切。キ教国家めざせというか？〝教科書的〟書籍執筆者の責任大きい
9．30	大嘗祭学習ビデオをを北海道福音教会協が製作。感性に訴える◇北福教要望、宣言文◇アジア宣教会議で本田弘慈師戦責謝罪、反響呼ぶ
9．30	【読書】『新潟女学院と北越学館』国家主義強化の中でのキ教主義学校考えさせる◇『大嘗祭とキリスト者』点字版出た
9．30	【ひと】壷坂国三師＝保守的地域で信者が神社に関わらなくても生活守られるようかけあった。大嘗祭反対もその延長。反対が事業にさしさわることない。行政に対して力持つ議員が怖いのは票。だからキ者は声を結集すべき
10．7	ゴスペルシンガーの篠崎俊彦さん、信教の自由テーマに「この世に向かって」作曲
10．7	【特集】靖国問題連絡会等の「国家神の復活・大嘗祭問う集会」で山口陽一師＝詩79・先祖の罪のため祈り異郷で苦しむ姿は日本の教会に重なる◇西川氏＝ソロモンは農耕カナン文化中、主の道離れ習俗に破れ国家神ケモシュを拝んだ
10．7	日キ教団靖国委、新靖国懇に反対◇同議長が呼びかけ書◇同関東教区埼玉県に、宮内庁に追従せぬよう要望◇キ者平和の会、日キ東京教区諸教会に署名参加呼びかけ
10．14	【声】臼田忠夫氏＝反天皇キャンペーンは伝道に不利益。教育勅語に勝る倫理説けば皇室キ教化可能◇竹田きみえ師＝戦前のキ者弾圧、朝鮮併合、今の大嘗祭は「昭和の踏み絵」
10．14	【声・焦点】本紙上大嘗祭議論に思う・入船尊師＝議論は必要。だが表現不足、性急さ故の分裂避けよう。総合的なキ者の視点構築に結束を
10．21	【神学】稲垣氏⑧＝非公開の秘儀を含み、憲法にも皇室典範にも無い大嘗祭国家挙行の異常
10．21	【神学】宗教行事「大嘗祭」に対するリタジー（礼典的礼拝）署名センター主催、聖公会担当で挙行された。国家の罪、戦時下教会の罪の悔い改めの祈りなどを司式者と会衆が交唱
10．28	バプ同盟声明。長崎市長・フェリス学長銃撃事件にも触れ「平和と人権のアピール」
10．28	【特集】西川氏「各地の学習会に招かれて」＝全国小グループの真剣な会で遺言のつもりで語る。宣教師、キ教学校の招きも◇関連学習会記録
10．28	バプ連盟、秋田・大分県に抗議文◇キ教主義学校教組声明
10．28	【読書】塚田理著『象徴天皇制とキリスト教』＝自らのムラに排他的に留まらず全人類連帯の中に究極的解放が。教会は＜第三のムラ＞
11．4	ナザレン声明＝象徴天皇が私的にでも大嘗祭をすること自体、キ者にとり信仰の自由侵害
11．4	ＮＣＣの立場表明＝即位の礼も憲法に反する形で、天皇神格化もくろむ◇保守バプ声明
11．11	自衛隊中東派兵問題に関連し平和遺族会声明と議員への手紙＝①派兵による死者を靖国の英霊にする②新靖国懇決定で靖国公式参拝再開③大嘗祭で天皇が神になる、三つどもえ構造指摘
11．11	'91年ＷＣＣ総合テーマの一つに「教会と天皇制」が決定。アジアと世界の問題として
11．11	即位礼を前に、本田弘慈師＝伝道が一番国動かす。大勢に順応せぬ大胆な発言も必要◇竹村泰子議員＝国会で憲法守られ、正義あるよう祈る◇皆川尚一師＝悪霊支配下に天皇が入り自らを〝神〟とせぬよう祈る◇山口昇師＝幼稚園休むが国旗掲げぬ。礼拝で国のため祈っている◇国吉守師（沖縄）＝当日教会に集まり国のため祈る◇滝元明師＝神道儀式への公費支出は反対。天皇救われ国の体質変わるよう祈る◇西川重則氏＝即位礼も天皇神格化の文脈で政府関与して行われることに抗議◇丸山忠孝学長＝当日神大チャペルで国のため祈る◇中山弘正教授＝当日学内自主討論会◇壷坂国三師（岐阜）＝幼稚園やる。権力誤用で国裁かれても、軽くて国民目覚めるよう祈る。我々側の発言も力ある
11．11	【声】豊田喜一師＝反対に終始せず、天皇は天地創造の神に祈るため大嘗祭をすると考え、内外に宣証しては
11．18	聖書神学舎学生会、アジアの神学生に祈り要請の手紙。日本的土壌でなく聖書に立ち、アジア宣教の一環である日本宣教への取り組みとして
11．18	中部の新旧20教派1564人連名緊急声明
11．18	改革派声明。即位礼にも抗議。同時に韓国教会へ罪責告白◇宮崎のメノナイト有志声明
11．18	【神学】稲垣氏⑨＝人間の営みの全領域（政治含む）にキリストの主権を明確にした聖書的キ教のみが、国家を相対化しその神格化防ぐもの
11．25	【落穂】福音自由、同盟基督などの諸教会を巡回する韓国の金宗植師＝先進国中、日本だけが迷信を打破できない。生活の聖別こそ「神々の精神風土」の中で、キ者がなすべきこと
11．25	岩手靖国訴訟、仙台高裁で結審。神権天皇制へ回帰させぬ政教分離と位置付けての弁論展開だった。井上次郎師＝教会、地域の理解得てきた
11．25	米英大使館から単立連盟関東牧師会へ、即位礼・大嘗祭の問題性指摘の手紙への返書。英＝即位礼は友好のため参加。米＝対国内問題非言及
11．25	東京キ教学園通常授業。西南学院大神学部も
11．25	即位礼当日（11・12）日本のためのとりなし会の祈祷会でＪ．ウィリアムズ師＝神が集めたとりなし手の涙が日本をきよめる。裁きも悔い改めで変わる◇久留米キ教会は終日祈りのため開放◇基督長老はＴＶ中継で監視。柿生キ教会でも◇ＫＭＲＣ講演会でＲリー師＝天皇制は単に近代国家建設のため藩に代わって作られた
11．25	【読書】関連主要書籍紹介
12．9	関西５神学校有志、「信仰の声明」発表。教理的違い超え、信仰者の立場明確にしてまとめた。全国神学校に連帯呼びかけ、反応あった。
12．9	ＮＣＣ署名センターとＪＥＡで計19万の反対署名提出◇キ者平和の会では５千提出
12．9	大嘗祭当日（11．22～23）に向け、全国断食者1800人。悔い改めと抗議表明等各人の意味こめて◇当日、同盟基督有志、主基殿の儀時、深夜４時間祈り会◇関西福音派抗議集会◇神戸で篠崎俊彦氏の信教の自由コンサート◇日キ大阪教区集会
12．9	とりなしの会、徹夜祈祷会で聖餐式、キリスト主権の宣言、アマテラスら悪霊との戦いする
12．9	大嘗祭後ＪＥＡで協議会。西川氏＝「この世の法」たる憲法だが聖書から高く評価。天皇制への取り組みに信教の自由が近道◇稲垣氏＝「近代」行き詰まり「伝統」回帰がおこっている。両者批判的に意味付けるキ教世界観に立ち、憲法の内実深化を。キ教政党結成提言
12．9	【声】池尻良一師＝国家の社会制度による暴力的な圧迫から教会を守るため、宣教とは別に、信教の自由確立の戦いすべき

出エジプトと聖地の旅 ―エジプト・シナイ・イスラエル・ローマ―
1991年1月21日(月)～1991年2月2日(土)〈13日間〉
●団長：沼沢広昭師（日本イエス・キリスト教団荻窪教会牧師）　●副団長：清水昭三師（福音交友会高石聖書教会牧師）
●旅行代金：525,000円（大阪・成田発着）
〈コース〉大阪(成田)～ロンドン～カイロ～サンタ・カテリナ～エイラート～テルアビブ～ハイファ～ナザレ～ティベリア～エリコ～エルサレム～ベツレヘム～ローマ～ロンドン～大阪(成田)

パウロの世界を行く ―トルコ、ギリシアの旅―
1991年3月11日(月)～1991年3月23日(土)〈13日間〉
●同行牧師：佐伯幸雄師（日本基督教団同志社教会牧師）
●旅行代金：598,000円
〈コース〉大阪～イスタンブール～アダナ～アンタキア～タルソ～メルシン～キリキアの峡門～ユルギュップ～デルベ～コンヤ～コロサイ～パムカレ～エペソ～クサダシ～サモス～アテネ～コリント～大阪

神学生とともに旅し学ぶ（聖地セミナー）
ナイル文明と聖地イスラエルを訪ねる旅
1991年3月11日(月)～3月25日(月)〈15日間〉
●同行解説者：清重尚弘師（日本ルーテル神学大学学長）
●旅行代金：598,000円（成田・大阪・福岡発着）
〈コース〉成田～ロンドン～カイロ～ルクソール～サンタ・カテリナ～シナイ山～ヌエバ～アカバ～ペトラ～マケルス～ネボ山～アンマン～エリコ～マサダ～エルサレム～ベツレヘム～ナザレ～ティベリア～アッコ～ハイファ～テルアビブ～ロンドン～成田

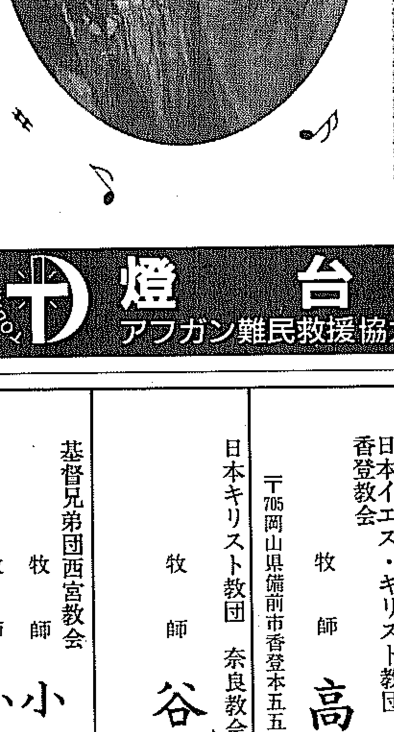
使徒パウロの海の旅 ―ギリシャ・キプロス・マルタ・イタリア―
1991年3月19日(火)～1991年4月2日(火)〈15日間〉
●同行解説者：佐竹 明氏（フェリス女学院大学教授）
●旅行代金：680,000円
〈コース〉アテネ～ヘラクリオン～マタラ～ハニヤ～ラルナカ～ニコシア～リマソール～ロードス～アテネ～ローマ～マルタ～シラクサ～カタニア～パレルモ～ナポリ～ポンペイ～ローマ～アテネ

ヨーロッパ歴史と美術の旅 ―トルコ・ギリシャ・フランス・スペイン―
1991年3月24日(日)～4月7日(日)〈15日間〉
●同行講師：秦 剛平先生（多摩美術大学教授）
●旅行代金：535,000円
〈コース〉成田～パリ～イスタンブール～イズミール～エペソ～クシャダス～サモス～アテネ～パリ～マドリッド～トレド～クエンカ～バルセロナ～パリ～成田

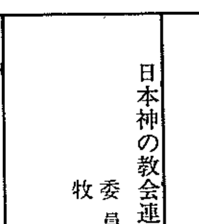
3週間聖書セミナー ―エジプト・シナイ・イスラエル
1991年7月10日(水)～7月31日(水)〈22日間〉
●団長：高倉田鶴子師（日本キリスト教団・千葉教会牧師）
●旅行代金：650,000円
〈コース〉成田～ロンドン～カイロ～ルクソール～サンタカタリナ～エイラート～ベエルシェバ～エルサレム～クムラン～マサダ～ベツレヘム～エリコ～ゲネサレ～ハツォール～バニアス～カナ～ナザレ～メギド～テルアビブ～ロンドン～成田
（エルサレム11泊滞在中、現地の講師による諸テーマについて8回の講演が予定されています。）

第４回国際司牧・牧会配慮カウンセリング大会参加の旅（大会登録も当方で行います）
●1991年8月4日(日)～10日(土)〈6日間〉
●団長：W・キッペス師
●大会会場：ノールドワイケルハウト、オランダ
〈Aコース〉期間：8月2日(金)～11日(日)〈10日間〉　費用：590,000円
〈コース〉成田～アムステルダム～ノールドワイケルハウト（7泊）～アムステルダム～成田
〈Bコース〉期間：8月2日(金)～16日(金)〈15日間〉　費用：690,000円
〈コース〉（Aコースの大会後）アムステルダム～フランクフルト～ハイデルベルグ（1泊）～ローテンブルグ（1泊）～ネルトリンゲン～ミュンヘン（2泊）～ノイシュバンシュタイン～成田

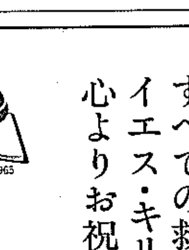
●パンフレット請求・お申し込みは〈電話番号〉　（運輸大臣登録一般旅行業第853号）〒104 東京都中央区銀座1－6－13 106 ギンザビル
パックス インターナショナル株式会社　☎03(561)0755　担当／吉見・松永・秋間　取扱責任者／小河辰男



アフガン難民救援・チャリティーの夕べ
★日　時：1991年2月16日(土) 6時開演
★会　場：安田生命ホール（新宿駅西口前）
☆プログラム：賛美・講演・アフガン難民救援現地報告
☆入場券：2000円（申し込みは下記事務局へ）



◆賛美 本田路津子
●1970年 フォークコンテスト優勝
●1975年 受洗・結婚・12年間米国滞在
●クリスチャン・シンガーとして活躍中



◆講演 中田正一
●海外協力のための人づくりを目指す「風の学校」主宰
●岩波新書「国際協力の新しい風～パワフルじいさん奮戦記」著者
●国際協力25年。ボランティア活動は45カ国に及ぶ。

☆この活動に関心のある方は、振るってご参加下さい。
☆主催・『燈台』理事会（理事長 羽鳥 明）

燈台　アフガン難民救援協力会　〒364 埼玉県北本市大字北本宿161-4 南福音診療所内　☎0485-91-7191　FAX.0485-91-9668
入場券の申し込みお問い合わせは

祝降誕　メリー・クリスマス
「見よ、おとめがみごもって男の子を産むであろう。その名はインマヌエルと呼ばれるであろう」。これは、「神われらと共にいます」という意味である。（マタイ一・二三）
イエス・キリストの福音ＴＶ放送
「幸福への招待」
メッセージ パウロ・趙鏞基
司会 大久保みどり

すべての救い主
イエス・キリストのご降誕を
心よりお祝い申し上げます
チャーチ オブ クライスト ニュージーランド 日本
大阪教会
牧師・長老・教会員一同
〒565 吹田市佐井寺4丁目53番3号 ☎06(387)8178
SINCE 1965

日本オープンバイブル教団神戸キリスト栄光教会
アガペワールドミッション主幹
牧師 菅原 亘
〒653 神戸市長田区久保町五－五－一二 電話 〇七八－六一二－五五一一～二

日本神の教会連盟 玉川神の教会
委員長 牧師 山口 昇
〒158 世田谷区奥沢七－一二－一二 電話 〇三－七〇一－七四三一

日本イエス・キリスト教団 香登教会
牧師 高橋虎夫
〒705 岡山県備前市香登本五五〇－三 電話 〇八六九－六六－九一二二

日本キリスト教団 奈良教会
牧師 谷口 章
〒630 奈良市北半田西町一一番地 電話 〇七四二－二二－七八一六

基督兄弟団西宮教会
牧師 小平照夫
牧師 小平牧生
〒662 西宮市染殿町二－一六 電話 〇七九八－二六－〇三三一

新作ビデオ「エホバの証人を斬る」発売中
日本ミッション映画部
代表 高原幸男
〒534 大阪市都島区御幸町二－一－一九 電話 〇六－九二三－二一二二

東京シャローム株式会社
代表取締役 芦屋忠重
〒153 東京都目黒区下目黒一－二－二三 セザール目黒ビル五一三 電話 〇三－四九四－六九七八

(株)現代ぷろだくしょん
アニメーション映画「キムの十字架」上映中
監督 山田典吾
〒161 東京都新宿区上落合二－二五－一 電話 〇三－三六四－五六〇一

日本国際ギデオン協会 会計監査
(株)開成印刷 取締役会長
谷本 正
〒112 東京都文京区水道二－一四－一四

菱光建材株式会社
代表取締役 米津照夫
本社 〒761 高松市多肥上町一四五一－二 電話 〇八七八－六六－五一八三(代)
高松事務所 〒761 高松市太田上町一〇二九－五 FAX 〇八七八－六七－二二四三

Motoo Kiwch
President
"E" means the Eternal Life in Jesus Christ for Everybody.
Address: Setagaya 1-32-2 Setagaya-ku TOKYO 154 Japan
Phone:03-428-4121
Fax:03-428-7381
KIWCH COMPANY

私たちは、マルチフォーム(今まではユニホーム)の時代のイノヴェイターとして企画力とデザイン力を持つ、製作 メンテナンスの総合会社です。(木内基夫)